

報道関係 各位

2016年9月25日

株式会社日本レースプロモーション

9月24日(土)～25日(日)

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 スポーツランド SUGO
決勝結果速報

関口 雄飛(イトウチュウ エネクス チーム インパル)が圧巻の走りで、
今季2度目のポールトゥウィンを果たす！

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 スポーツランドSUGO が、9月25日(日) 宮城県柴田郡 スポーツランドSUGOインターナショナルレーシングコース(1周:3.704km) にて行なわれ、No.20 関口 雄飛(イトウチュウ エネクス チーム インパル)が、デビューシーズンながら、今季2度目のポールトゥウィンを果たしました。途中、導入されたセーフティカーにより、ピットインのタイミングを逃すという不運があったにも関わらず、リスタート後、他の選手より1秒以上速い圧巻の走りを重ね、スタートから1位を誰にも譲る事無くゴールしました。2位は、No.64 中嶋 大祐(ナカジマ レーシング)、3位は、No.40 野尻 智紀(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が続きました。

この結果、関口 雄飛がドライバーポイントでトップに返り咲き、最終戦を前に年間チャンピオンに大きく近づきましたが、最終戦で獲得可能な18ポイント以内に、12人がひしめく大混戦となっており、年間チャンピオン争いの行方に注目が集まります。

次戦は、いよいよ最終戦10月29日(土) 30日(日)開催の 第7戦 鈴鹿サーキット となります。

* 記録の詳細は、添付「2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権第6戦 スポーツランド SUGO 決勝正式結果」をご参照ください。



今季2度目のポールトゥウィンを果たした、No. 20 関口 雄飛 (イトウチュウ エネクス チーム インパル)

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

【ご参考】

1. 全日本スーパーフォーミュラ選手権とは？

純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レースです。一般社団法人日本自動車連盟(JAF)が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートにより、1996年にフォーミュラ・ニッポンとしてスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更し現在に至っています。

2. チャンピオンシップ

2016年全日本スーパーフォーミュラ選手権は、全7戦、日本全国5カ所のサーキットを11チーム(エントラント)、国内外の19名(19台)のドライバー(※)が転戦しチャンピオンが争われる、アジア地域唯一の国際格式選手権シリーズです。

(※)ドライバー:国内:12名、海外5カ国:7名(イギリス2名、インド、ドイツ、ブラジル各1名、ベルギー2名)

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P.P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

*P. P. : ポールポジション(予選1位)には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

*1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*1大会2レース制の場合、最終戦に限りレース1、レース2の勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム(エントラント)が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

3. シリーズ賞典

シリーズ賞典として、年間チャンピオンドライバーには、株式会社日本レースプロモーションよりシリーズドライバーズチャンピオンカップと賞金が授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付されます。また年間チャンピオンチームには経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与されます。

4. レース車両

◎シャシー

「クイック・アンド・ライト」をキーワードに開発されたSF14(イタリアダラーラ社製)を2014年より採用。

SF14は、キーワードの「クイック・アンド・ライト」特性を活かし、コーナリングスピードではフォーミュラ1マシン以上のパフォーマンスを叩き出します。この車両を採用して以来、レースの質が一気に向上したことから海外からの注目を集めるようになりました。

◎エンジン

日本を代表する自動車メーカーであるホンダとトヨタが次世代エンジン開発に貢献するコンセプト=NRE(※1)に基づき開発したHONDA HR-414E、TOYOTA RI4A を搭載しています。

このエンジンの特徴としては「燃料リストラクター」(燃料流量規制システム)を全機装備し、燃料流量を一定にすることにより燃料をいかに効率良く活用しパワーに結びつけるかが、勝負の鍵となります。

厳しい開発競争の結果、効率の良さを図る“正味燃費消費率(BSFC)”、“正味熱効率”では市販ハイブリット車以上の性能を発揮しており、次世代エコエンジンの開発に貢献しています。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

人気酒造

(※1)NRE エンジンについて

ホンダ、トヨタ、ニッサンが、環境技術とモータースポーツの面白さの両立に向けに決定したエンジン規定。

- ・気筒配列 : 直列4気筒
- ・排気量 : 2,000cc+ターボ
- ・燃料吸気方式 : ダイレクトインジェクション
- ・燃料流量制限 : 鈴鹿、富士大会…燃料流量95kg/h
その他大会…燃料流量90kg/h

◎オーバーテイクシステム

レースを盛り上げる一助として、オーバーテイクシステム(以下OTS)を2009年より採用しています。このシステムは、スーパーフォーミュラが始めた仕組みです。

当該システムはレースに於ける見せ場の一つである追い越しをより促すシステムです。

SF14のシステムは各エンジンに装備されている燃料リストリクターを活用し、燃料供給量を一時的に増加させパワーを上げることができます。(※2)ステアリングにあるボタンを操作し、1大会につき5回、各20秒間使用可能となります。使用中はドライバーのヘルメット後方にあるランプ(オーバーテイクランプ=OTL)が点滅し、観客からも視認できます。

またポイントリーダードライバーは、その栄誉を称える意味から1台だけ赤色のランプ(名称:リーダーズレッド)を装着しています。

(※2)オーバーテイクシステムの効果について

- ・メカニズム : システム作動時に燃料流量を10kg/h増加させる
- ・効果 : 約60ps、10%の出力増
- ・ルール : 1回に20秒間作動、1大会で5回使用可能

◎タイヤ

今シーズンより横浜ゴム製のワンメイク供給です。同社における国内トップフォーミュラへの参戦は1996年以来20年ぶりとなります。横浜ゴムのスーパーフォーミュラ用ADVANレーシングタイヤは、スーパーフォーミュラが要求するグリップ、耐久性、安全性などの厳しい目標に対し、高いパフォーマンスを発揮、レースの盛り上げに貢献しています。

5. 公式予選

スポーツランドSUGO国際レーシングコース(1周:3.704km)を決められた時間内に、各チームが1周タイムのベストをめざし、ノックアウト方式でタイムアタックを行います。

尚、ノックアウト方式の名称は、予選にて好タイムが出なければその場でノックアウト(脱落)されることから、この呼称となりました。19台エントリーの場合では、まずQ1(20分間)で15位~19位のスタート位置を決定し、10分間のインターバル後、Q2(7分間)を行い9位~14位のスタート位置を決定します。さらに10分間のインターバルの後、Q3(7分間)を行い、1位~8位の決勝レーススタート位置を決定します。

6. 決勝レース

スポーツランドSUGOインターナショナルレーシングコース(1周:3.704km)を 25日(日)に、68周、トータル251.88kmを走行し、順位を競います。

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4 / 23 ~ 24	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250 km
5 / 28 ~ 29	第2戦/岡山国際サーキット	ノックアウト	250 km
7 / 16 ~ 17	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250 km
8 / 20 ~ 21	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250 km
9 / 10 ~ 11	第5戦/岡山国際サーキット (※)	時間 / ノックアウト	2 レース制
9 / 24 ~ 25	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250 km
10 / 29 ~ 30	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2 レース制

(※)熊本地震により、第5戦のオートポリス開催は中止となり、代替レースとして岡山国際サーキットにて開催いたしました。

7. スポーツランドSUGOインターナショナルレーシングコースについて

宮城県村田町にある自然の地形を活かしたスリリングなサーキット。全長は短くタイトなレイアウトだが、アップダウンが大きくチャレンジングなコースとなっている。特に高速コーナーから一気に10%の上り勾配を駆け上がる最終コーナーは特徴的。また、コースレイアウトのせいだけではなくドラマが毎年のように起きることもあり、SUGOには“魔物が棲む”と言われている。



Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

人気酒造

2016 年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 スポーツランド SUGO エントリーリスト

(車両:SF14、タイヤ:ヨコハマタイヤ)

Car No.	ドライバー名	生年月日	出身地	チーム名 (読み)	監督	エンジン
1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	1981/4/23	日本/東京都	P.MU/CERUMO・INGING (プロミュー/セルモ インギング)	立川 祐路	TOYOTA R14A
2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	1990/9/12	日本/神奈川県			
3	ジェームス・ロシター James Rossiter	1983/8/25	イギリス	KONDO RACING (コンドー レーシング)	近藤 真彦	TOYOTA R14A
4	ウィリアム・ブラー William Buller	1992/9/17	イギリス			
7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	1977/1/14	インド	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	山田 健二	TOYOTA R14A
8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	1986/9/13	日本/兵庫県			
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	1986/11/20	日本/栃木県	REAL RACING (リアル レーシング)	金石 勝智	HONDA HR-414E
11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	1984/6/1	日本/東京都			
16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	1988/7/11	日本/栃木県	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	手塚 長孝	HONDA HR-414E
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	1991/7/25	日本/東京都	KCMG (ケーシーエムジー)	土居 隆二	TOYOTA R14A
19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	1981/7/13	ブラジル	ITOCHEU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インバル)	星野 一義	TOYOTA R14A
20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	1987/12/29	日本/東京都			
34	小暮 卓史 Takashi Kogure	1980/8/1	日本/群馬県	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	道上 龍	HONDA HR-414E
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	1981/11/19	ドイツ	VANTELIN TEAM TOM'S (バンテリン チーム トムス)	舘 信秀	TOYOTA R14A
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	1985/1/11	日本/愛知県			
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	1989/9/15	日本/茨城県	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	村岡 潔	HONDA HR-414E
41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	1992/3/26	ベルギー			
64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	1989/1/29	日本/愛知県	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング)	中嶋 悟	HONDA HR-414E
65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1986/2/23	ベルギー			

2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 ポイントランキング

ドライバーポイントランキング

順位	No.	ドライバー	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
				鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1 Rd.5-2		菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1 Rd.7-2	
1	20	関口 雄飛 Yuhi Sekiguchi	28	-	-	6	11	-	-	11		
2	2	国本 雄資 Yuji Kunimoto	23.5	8	1.5	-	5	4	5	-		
3	36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer	22	2	0.5	5	8	-	2.5	4		
4	37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima	20	-	-	8	2	1	4	5		
5	1	石浦 宏明 Hiroaki Ishiura	19	-	9	3	6	1	3	-		
6	41	ストフェル・バンドーン Stoffel Vandoorne	19	6	-	1	3	5	1	3		
7	16	山本 尚貴 Naoki Yamamoto	15.5	11	2	-	1	-	1.5	-		
8	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira	12.5	-	-	10	-	0.5	2	-		
9	40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri	12	-	2.5	-	-	2.5	1	6		
10	3	ジェームス・ロシター James Rossiter	12	3	-	4	4	-	-	1		
11	10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi	11	4	4	1	-	2	-	-		
12	64	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima	10.5	-	1	-	-	1.5	-	8		
13	34	小暮 卓史 Takashi Kogure	7	5	-	-	-	-	-	2		
14	7	ナレイン・カーティケヤン Narain Karthikeyan	5	-	-	2	-	3	-	-		
15	11	伊沢 拓也 Takuya Izawa	3.5	-	3	-	-	-	0.5	-		
16	65	ベルトラン・バゲット Bertrand Baguette	1	1	-	-	-	-	-	-		
	4	ウィリアム・ブラー William Buller	-	-	-	-	-	-	-	-		
	8	小林 可夢偉 Kamui Kobayashi	-	-	-	-	-	-	-	-		
	18	中山 雄一 Yuichi Nakayama	-	-	-	-	-	-	-	-		

*表中ポイント数字の **太字**:優勝 下線:予選ポールポジション

チームポイントランキング

順位	チーム	ポイント	4/24	5/29	7/17	8/21	9/11		9/25	10/30	
			鈴鹿 Rd.1	岡山国際 Rd.2	富士 Rd.3	もてぎ Rd.4	岡山国際 Rd.5-1 Rd.5-2		菅生 Rd.6	鈴鹿 Rd.7-1 Rd.7-2	
1	P.MU/CERUMO・INGING (プロミュー/セルモ インギング)	41.5	8	6.5	3	11	5	8	-		
2	VANTELIN TEAM TOMI'S (バンテリン チーム トムス)	41	2	0.5	13	10	-	6.5	9		
3	ITOHU ENEX TEAM IMPUL (イトウチュウ エネクス チーム インパル)	38.5	-	-	16	10	0.5	2	10		
4	DDCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)	29	6	2.5	-	3	7.5	1	9		
5	TEAM 無限 (チーム ムゲン)	14.5	10	2	-	1	-	1.5	-		
6	REAL RACING (リアル レーシング)	14.5	4	7	1	-	2	0.5	-		
7	KONDO RACING (コンドレーシング)	12	3	-	4	4	-	-	1		
8	NAKAJIMA RACING (ナカジマ レーシング)	11.5	1	1	-	-	1.5	-	8		
9	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ)	7	5	-	-	-	-	-	2		
10	SUNOCO TEAM LEMANS (スノコ チーム ルマン)	5	-	-	2	-	3	-	-		
	KCMG (ケーシーエムジー)	-	-	-	-	-	-	-	-		

*表中ポイント数字の **太字**:優勝

*チームポイント:各チーム(エントリー)に所属するドライバーの獲得ポイントを合計。同一チーム(エントリー)に2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分が対象となる。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

J SPORTS

SONY
Action Cam

NIKKI-ICHI
人気酒造

－開催概要－

- 大会名称 : 2016年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦 スポーツランドSUGO
- 開催日程 : 2016年9月24日(土) 公式予選
2016年9月25日(日) 決勝レース [68周]
- 主催 : 株式会社菅生
菅生スポーツクラブ(SSC)
- 公認 : 国際自動車連盟(FIA)
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)
- 認定 : 株式会社日本レースプロモーション(JRP)
- 後援 : 公益社団法人宮城県観光連盟／村田町／河北新報社／名取市
- 同日開催 : 2016年 全日本フォーミュラ3選手権 第15戦・第16戦・第17戦
2016JAF菅生スーパーFJ選手権 第5戦
JMRC東北Moty's杯ロードスターカップ 第4戦
2016 N-ONE OWNER'S CUP Rd.11

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

**YOKOHAMA**

Promotion Partner

HITACHI
Inspire the Next

**J SPORTS**

SONY
Action Cam

**NINKI-ICHI**
人気酒造

【TV放映予定】

● J SPORTS

全7戦の予選と決勝の様様をライブ中継、再放送やレースダイジェスト番組も放送します。
放送スケジュールは、「J SPORTSモータースポーツ」ウェブサイト内の「スーパーフォーミュラ」ページ、
または「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」でご確認ください。

http://www.jsports.co.jp/motor/super_formula/、 <http://www.superformula.net/>

● BSフジ『スーパーフォーミュラ Go On!』

あの時、あの瞬間、何が起きていたのか？レースの裏側を独自の視線でたっぷり振り返るハイライト番組。
ドライバーの想いやマシン秘密に迫るミニコーナーなども加え、スーパーフォーミュラの魅力満載です。
レース翌週の金曜日に初回放送！再放送あり。

<放送日時> ※放送日時は変更となる場合があります。

第6戦 スポーツランドSUGO 9/24～25	9/30(金) 23:30～24:25
第7戦 鈴鹿サーキット10/29～30	放送日未定
総集編	放送日未定

● フジテレビNEXTライブ・プレミアム(CS放送)『スーパーフォーミュラTV』

レースダイジェストとスタジオトークでスーパーフォーミュラの魅力を伝える30分の情報番組。
ゲストには参戦ドライバーに加え、トップフォーミュラの歴史に名を馳せたレジェンドたちも出演します。
過去の名場面から現在まで、二人のゲストがフォーミュラへの想いを熱く語ります。
司会はフジテレビF1実況アナウンサーです。

<放送日時> ※放送日は、レース翌週の金曜日。再放送あり。

第6回のゲストは、関口雄飛、井出有治。放送日は9/30(金) 14:25～14:55。

詳しくは番組ホームページをご覧ください。 http://otn.fujitv.co.jp/b_hp/914200066.html/

● フジテレビ(地上波)『超速GO音』

今注目のドライバーや監督を毎回ゲストに迎え、知られざるレースの魅力、ドライバーの凄さやプライベートを徹底的に語りつくす、スーパーなアスリートトークショー。

小林可夢偉と中嶋大祐の二人の参戦ドライバーがパーソナリティを務め、番組の進行はピエール北川、そして乃木坂46の樋口日奈がナレーションを担当します。

<放送日時>

第6回のゲストは、舘信秀監督、中嶋悟監督。放送日は、9/18(日) 26:45～27:15。

9/26(月)から動画配信サービスのFOD(フジテレビオンデマンド)で無料配信開始。

◎ 世界182カ国でスーパーフォーミュラの放送を開始！

今シーズンから各戦の英語版 52 分ハイライト番組が 121 カ国にて放送されることになりました。この時点で
確定している視聴可能世帯数は約 3500 万、ニュースのみの露出を加えると 182 カ国でスーパーフォーミュラ
の映像が流れます。

【映像の配信】

- ニコニコ動画

土曜日の予選を全戦生中継

<http://www.nicovideo.jp/>

- GyAO!

大会終了10日以降に、スーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンドにて無料配信します。

<http://gyao.yahoo.co.jp/sports/>

- YouTube

予選ならびに決勝の競技映像をダイジェスト版にて当日夜配信します。

※配信日時の変更となる場合があります。

詳しくは予選ならびに決勝日の夜、「スーパーフォーミュラ オフィシャルウェブサイト」

もしくは「YouTube」本サイトでご確認ください。

<http://www.superformula.net/> <https://www.youtube.com/user/superformulavideo>

- FOD(フジテレビオンデマンド)

フジテレビで放映中の『超速GO音』を、放送日の8日後から無料配信します。

<http://fod.fujitv.co.jp/s/genre/sports>

【インターネット/SNS】

- スーパーフォーミュラオフィシャルWEBサイト

<http://superformula.net>

- スーパーフォーミュラオフィシャルfacebook

<https://www.facebook.com/superformula.official>

- スーパーフォーミュラオフィシャル twitter

https://twitter.com/SUPER_FORMULA

*この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション 広報部

102-0074東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0131 e-mail:media@jrp-inc.net

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

 **YOKOHAMA**

Promotion Partner

 **HITACHI**
Inspire the Next

 **J SPORTS**

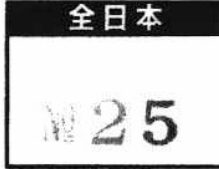
 **SONY**
Action Cam

 **NINKI-ICHI**
人気酒造



2016 Japanese SUPER FORMULA Championship Round 6
2016 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦

併催レース: 2016年 全日本フォーミュラ3選手権 第15戦&第16戦&第17戦
 JAF 菅生スーパーFJ選手権 第5戦
 2016 N-ONE OWNER'S CUP Rd.11
 JMRC東北/Moty's杯ロードスターカップ 第4戦
 ロードスターバーティレース 北日本シリーズ (NC/NB) 第4戦



主催: 株式会社菅生/菅生スポーツクラブ(SSC) 公認: 一般社団法人 日本自動車連盟(JAF) 後援: 公益社団法人 宮城県観光連盟/村田町/名取市/河北新報社

主催: 株式会社菅生/菅生スポーツクラブ(SSC)



2016全日本スーパーフォーミュラ選手権 第6戦
SUPER FORMULA 決勝 正式結果表

START : 15:18:33
 FINISH : 16:40:59
 発表 17:40

2016.09.25		SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.704256km)		天候: 晴れ	コース状況: ドライ					
Pos	No.	Driver	CarName	Type	Laps	Time	Delay	Ave.km/h	Fastest Lap	
1	20	Yuhi Sekiguchi	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	68	1h22' 26.480		183.323	1'07.736 53	
2	64	Daisuke Nakajima	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	68	1h22' 40.758	14.278	182.795	1'08.865 36	
3	40	Tomoki Nojiri	DOCOMO DANDELION M40Y SF14	Honda HR-414E	68	1h22' 45.365	18.885	182.625	1'08.728 64	
4	37	Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	68	1h22' 45.811	19.331	182.609	1'08.730 68	
5	36	Andre Lotterer	VANTELIN KOWA TOM'S SF14	TOYOTA R14A	68	1h22' 46.735	20.255	182.575	1'08.486 65	
6	41	Stoffel Vandoorne	DOCOMO DANDELION M41S SF14	Honda HR-414E	68	1h22' 49.581	23.101	182.470	1'08.657 62	
7	34	Takashi Kogure	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	68	1h22' 50.470	23.990	182.438	1'08.463 65	
8	3	James Rossiter	FUJII CORPORATION KONDO SF14	TOYOTA R14A	68	1h22' 53.881	27.401	182.313	1'08.505 66	
9	65	Bertrand Baguette	GREEN TEC/NAKAJIMA SF14	Honda HR-414E	68	1h22' 54.662	28.182	182.284	1'08.442 63	
10	4	William Buller	FUJII CORPORATION KONDO SF14	TOYOTA R14A	68	1h23' 04.481	38.001	181.925	1'08.553 63	
11	10	Koudai Tsukakoshi	REAL SF14	Honda HR-414E	68	1h23' 04.805	38.325	181.913	1'08.747 68	
12	7	Narain Karthikeyan	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	68	1h23' 05.304	38.824	181.895	1'08.173 68	
13	11	Takuya Izawa	REAL SF14	Honda HR-414E	68	1h23' 08.674	42.194	181.772	1'08.293 68	
14	16	Naoki Yamamoto	TEAM MUGEN SF14	Honda HR-414E	68	1h23' 16.208	49.728	181.498	1'08.790 62	
15	2	Yuji Kunimoto	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1h23' 21.000	54.520	181.324	1'08.384 63	
16	1	Hiroaki Ishiura	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1h23' 24.837	58.357	181.185	1'08.608 64	
17	8	Kamui Kobayashi	SUNOCO TEAM LEMANS SF14	TOYOTA R14A	67	1h22' 41.261	1 Lap	180.089	1'08.065 49	
----- 以上完走 -----										
19	Joao Paulo de Oliveira	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	17	20' 23.450	51 Laps	185.296	1'08.856	14	
18	Yuichi Nakayama	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	4	4' 51.429	64 Laps	183.034	1'10.044	3	

参加台数: 19台 出走台数: 19台 完走台数: 17台

ベストラップ: 20 Yuhi Sekiguchi 1'07.736 53/68 196.872km/h

SC導入 15:40:23 ~ 15:48:07

計時委員長

大会競技長

審査委員長

(KAZUNORI SATOH)

(YASUSHI OTANI)

(TAKASHI MITARASHI)

本大会にて実施したドーピング検査の分析結果により、JAFが競技結果成績に訂正を行うことがあります。

Series Partner

HONDA

TOYOTA

Series Supporter

YOKOHAMA

Promotion Partner

HITACHI
 Inspire the Next
 Action Cam

J SPORTS
 日本人気酒造